

宝ホールディングス (コード 2531)

◆通期業績推移(連結) (25.3 予は会社側発表値)

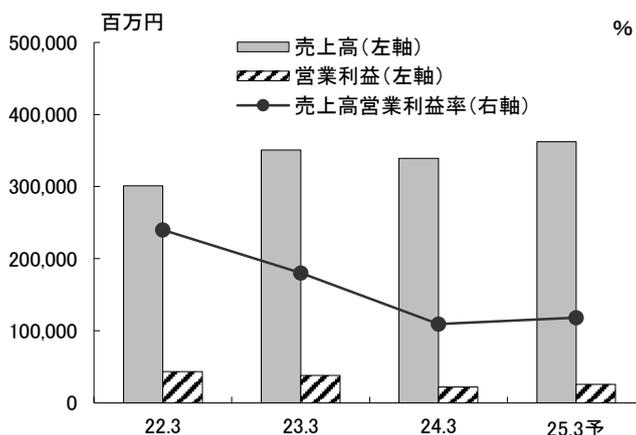
決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	300,918	43,354	105.1	37.0	16,376	▲10,399	4,133	75,729
23.3	350,665	37,945	107.3	38.0	45,478	▲10,474	▲22,215	91,785
24.3	339,372	22,242	82.1	29.0	29,178	▲19,993	▲13,448	90,184
25.3予	362,000	25,700	88.1	31.0	—	—	—	—

◆各決算期の第2四半期業績推移(連結) (25.3 予は会社側発表値)

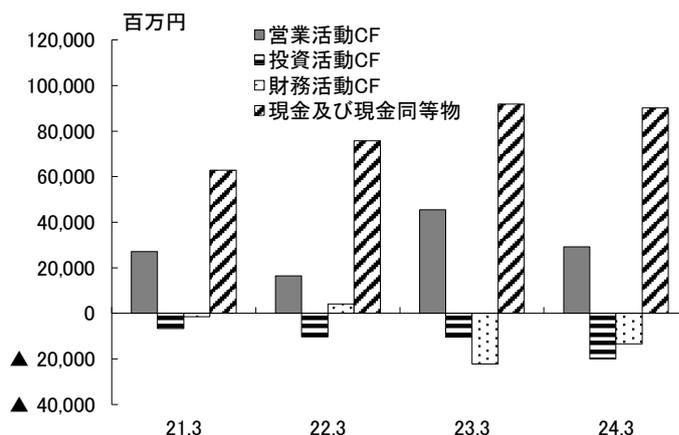
決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	141,213	21,616	50.8	—	11,798	▲12,066	▲5,620	58,775
23.3	164,279	19,614	55.0	—	7,231	▲9,553	▲21,625	55,991
24.3	163,172	12,464	40.7	—	14,922	▲15,796	▲9,711	84,446
25.3予	171,000	10,400	44.0	—	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)

通期の業績推移



通期のキャッシュ・フロー(CF)推移



24年3月期の業績概況…24年3月期の業績は、宝酒造及び宝酒造インターナショナルグループが増収増益となったものの、タカラバイオグループが大幅な減収減益となったことから、売上高は前年度に比べて約3%、営業利益は約41%それぞれ減った。

当期の売上高は3,393億7,200万円(23年3月期比3.2%減)、営業利益は222億4,200万円(同41.4%減)、経常利益は233億3,600万円(同39.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益(以下、当期純利益)は161億7,600万円(同23.7%減)となった。主なセグメント別の売上高及び営業利益は、宝酒造が売上高1,237億8,600万円(同0.7%増)、営業利益55億300万円(同12.5%増)、宝酒造インターナショナルグループが売上高1,604億2,700万円(同16.7%増)、営業利益122億9,100万円(同13.6%増)、タカラバイオグループが売上高435億500万円(同44.3%減)、営業利益30億300万円(同85.4%減)となった。

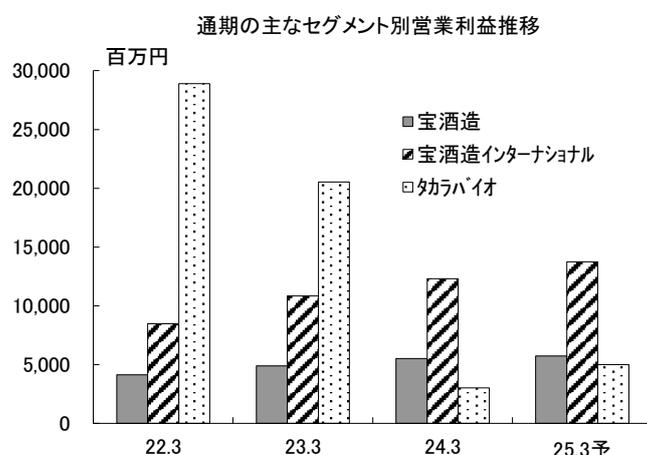
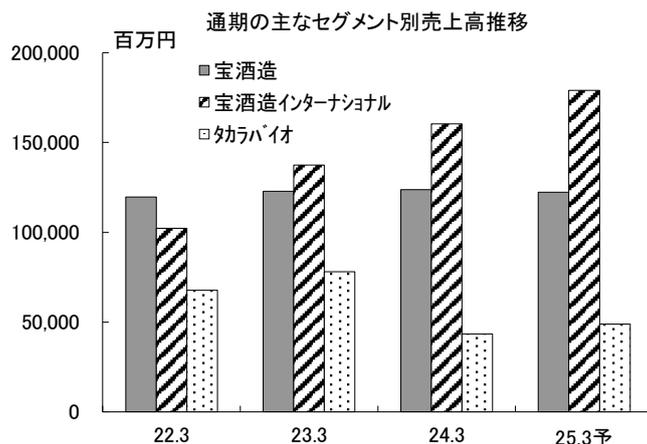
セグメント別にみると、海外食材卸などを展開する宝酒造インターナショナルグループが引き続き好調に推移している。世界的な和食ブームに加え、海外の飲食店市場においてコロナ禍からの回復が進んだことや、販売チャネルの多角化推進などを背景に、23年3月期に売上高で宝酒造を初めて上回り、営業利益についても当期には全体の半分以上を占めるなど、宝ホールディングスの連結業績をけん引している。同社グループの海外酒類事業においては、ウイスキーが米国

や英国で増加、清酒など和酒も伸長し、売上高は 209 億 2,600 万円（同 14.6%増）に。また、海外日本食材卸事業においては、米国での拠点の拡大や販売チャネルの多角化推進、取扱商品拡充などにより、売上高は 1,418 億 1,600 万円（同 16.9%増）に増加した。宝酒造においては、焼酎や清酒が減収となったものの、重点ブランドとして位置付けている「タカラ 焼酎ハイボール」などソフトアルコール飲料が好調に推移し、増収増益となった。タカラバイオグループは、試薬における新型コロナウイルス検査関連製品の大幅な売上減などにより、大きく減収減益となった。

キャッシュ・フロー（以下、CF）の状況については、当期末の現金及び現金同等物残高は 901 億 8,400 万円（23 年 3 月期末比 1.7%減）となった。営業活動による CF は、税金等調整前当期純利益 262 億 3,800 万円（23 年 3 月期比 33.9%減）、売上債権の減少額 19 億 9,400 万円（同 24.3%減）、棚卸資産の減少額 9 億 8,200 万円（同 89.1%減）未払消費税等の減少額 30 億 3,100 万円（23 年 3 月期は増加額 21 億 400 万円）、法人税等の支払額 84 億 5,900 万円（23 年 3 月期比 45.5%減）などにより、291 億 7,800 万円の収入（同 35.8%減）となった。投資活動による CF は、有形及び無形固定資産の取得による支出 192 億 1,000 万円（同 80.9%増）などにより、199 億 9,300 万円の支出（同 90.9%増）となった。財務活動による CF は、自己株式の取得による支出 29 億 9,900 万円（23 年 3 月期は 100 万円未満）、配当金の支払額 75 億 300 万円（23 年 3 月期比 2.7%増）、非支配株主への配当金の支払額 20 億 400 万円（同 26.9%増）のほか、23 年 3 月期に計上された社債の償還による支出 100 億円が当期には無かったことなどにより、134 億 4,800 万円の支出（同 39.5%減）となった。

25 年 3 月期の業績見通し…25 年 3 月期の業績については、売上高 3,620 億円（前期比 6.7%増）、営業利益 257 億円（同 15.5%増）、経常利益 263 億円（同 12.7%増）、当期純利益 172 億円（同 6.3%増）の見通し。

主なセグメント別の売上高及び営業利益予想では、宝酒造が売上高 1,223 億 7,300 万円（同 1.1%減）、営業利益 57 億 3,100 万円（同 4.1%増）。宝酒造インターナショナルグループが売上高 1,790 億円（同 11.6%増）、営業利益 137 億 5,000 万円（同 11.9%増）。タカラバイオグループが売上高 489 億円（同 12.4%増）、営業利益 50 億円（同 66.5%増）となっている。



本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。